

平成25年度 ニシン漁獲物調査速報(3)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

2月5日に石狩湾漁業協同組合(厚田地区)の水揚げ物より標本を採集し、後志北部水産指導所と共同で生物測定を実施しましたので結果を報告します。石狩湾漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1)

標本船の水揚げ銘柄は特オス、大オス、メス、ヌケで、メスの漁獲が最も多くなりました。測定結果より概算されるこの日の漁獲(標本船分)は521.9kg(1,510尾)となりました。魚体の平均体重は345.7gと大型でした。

2. メスの完熟率(表1)

測定した「メス」銘柄の標本すべてが産卵直前の状態でした。また、漁獲されたメスすべてのうち産卵を終えた個体の割合は約7%と推定されました。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長組成のモード(最頻値)は30cm台でした。年齢別には5年魚(2009年生まれ)が72%を占め、この年級を主体に漁獲物が構成されていました。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	特オス	大オス	メス	ヌケ	—	合計
漁獲重量(標本船分)	57.66	70.86	204.69	188.70		521.9
漁獲尾数(標本船分)	143	224	554	589		1,510
測定尾数	26	32	43	19		120
測定尾数(精密)	26	32	43	19		120
平均尾叉長(mm)	312	298	312	305		307.3
平均体重(g)	403	316	370	320		345.7
雌の比率	—	—	1.00	0.26		—
完熟率*	—	—	1.00	—		—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

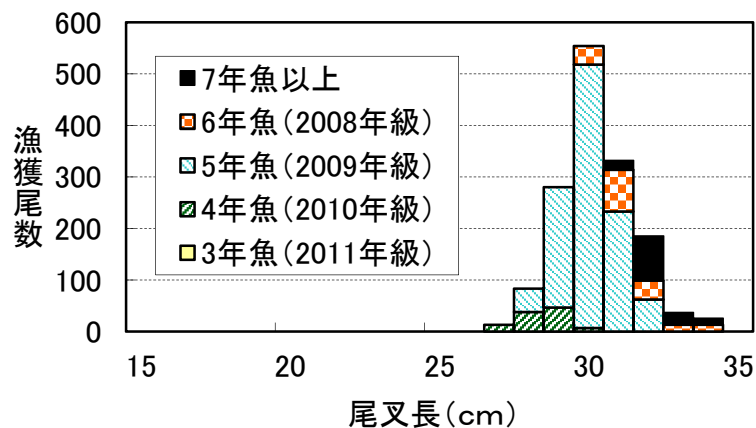


図1 2014年2月5日厚田地区 年齢別尾叉長組成